

福島第一原子力発電所 雑固体廃棄物焼却設備焼却炉(B) 二次燃焼器バーナ取付座からの蒸気状の気体の確認について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 9 月 2 5 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 昨日（9月24日）午後11時23分頃、雑固体廃棄物焼却設備建屋内にある雑固体廃棄物焼却設備（B）の二次燃焼器のバーナを取り付けている台座から、少量の蒸気状の気体が出ていることを、巡視点検を行っていた協力企業作業員が発見しました。
- 少量の蒸気状の気体が出ていたことを受け、本日（9月25日）午前0時2分、雑固体廃棄物焼却設備（B）の停止操作を行いました。午前1時00分、蒸気状の気体の発生が止まったことを確認しました。
- 現在、雑固体廃棄物焼却設備（B）について、点検ができる温度になるまで冷却するのを待っており、冷却後に点検を行う予定としております。
- 午前1時50分、二次燃焼器バーナ取付座周りのスミヤ測定の結果、検出限界値未満でした。また、午前2時40分、空間線量測定をしたところ、測定結果がバックグラウンドと同等でした。（空間線量測定結果：1 μ Sv/h（バックグラウンド相当））
- 建屋内の空調設備は、フィルタを通して外気に排気するため、外部への漏れ等の影響はないものと考えております。
- なお、雑固体廃棄物焼却設備建屋排気筒ガスモニタ・ダストモニタ指示値や、モニタリングポスト指示値、発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値、構内線量表示器指示値の指示値に有意な変動はなく、環境への影響はないと考えております。

雑固体廃棄物焼却設備

